



iGen3 御披露目から現在まで



- 2000年、ドイツで開催のDRUPAでiGen3発表、御披露目
- 2002年11月 米国にてリリース
- 2004年5月6日～19日 DRUPAにてiGen3のビジネスの立証の場
事例紹介、インラインの後処理機展示
- 2004年6月 日本(最初は東京限定)でリリース(富士ゼロックス圏内でリリース)
- 2004年9月 日本での1号機は北九州、株式会社マツモト様
- 2004年9月 iGen3も見られるepicenter 東京センター開設
- 2005年 ハードを含めたバージョンアップにより、分100ページから110ページ(A4)にスピードアップ、ジャパンカラープロファイルも提供

世界中で既に約1,000システムが稼動